

[注意] 1 特に指示がない限り、答えに $\sqrt{\quad}$ が含まれるときは、 $\sqrt{\quad}$ をつけたままで答えなさい。また、 $\sqrt{\quad}$ の中の数値は、できるだけ小さい自然数にしなければいけません。
2 円周率は π を用いなければいけません。

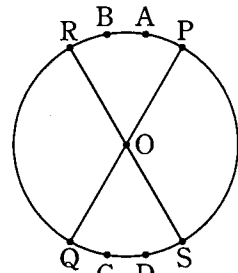
1 次の①～⑥の□に適切な数を書き入れなさい。

① $\left\{2 + \frac{1}{3} \div \left(-\frac{5}{6}\right)\right\} \times \left\{\left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)^2 - \frac{(\sqrt{3}+1)(\sqrt{3}-1)}{4}\right\}$ を計算すると□である。

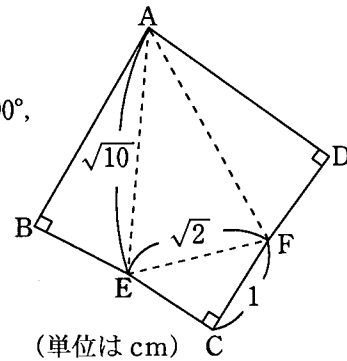
② 2次方程式 $x^2 - 2x - 2 = 0$ の解のうち小さい方を a とすると、 $a = \square(7)$ であり、 $a^2 - 3a + 2 = \square(1)$ である。

③ 関数 $y = -\frac{6}{x}$ について、 x の値が1から3まで増加するとき、変化の割合は□である。

④ 右の図のように、円の中心 O を通る2本の弦 PQ , RS があり、点 A, B は弧 PR を、点 C, D は弧 QS をそれぞれ3等分している。 $\angle AQP = 12^\circ$ のとき、 $\angle PQS = \square$ ° である。



⑤ 右の図は四面体 P の展開図であり、 $AE = \sqrt{10}$ cm, $CF = 1$ cm, $EF = \sqrt{2}$ cm, $\angle ABE = 90^\circ$, $\angle ADF = 90^\circ$, $\angle ECF = 90^\circ$ である。このとき、四面体 P の体積は□ cm^3 である。



⑥ 下の表は、1つのさいころを投げて出た目の数を記録したものである。いま、さいころを7回目まで投げており、1回目から7回目までの出た目の数の中央値を a とする。

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目
3	5	6	1	4	5	4	

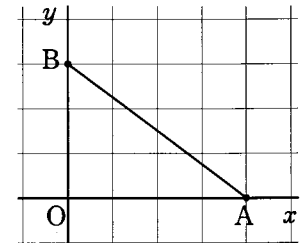
このとき、 $a = \square(7)$ であり、8回目としてさいころを投げたときに、1回目から8回目までの出た目の数の中央値が a である確率は□(1)である。

2 朝子さんは、ある動物園の割引券をもらい、その動物園に行く計画を立てた。その動物園の入園料については、おとな料金と子ども料金があり、割引券を使わない場合、おとな4人、子ども2人で入園するときと、おとな2人、子ども5人で入園するときの料金の合計は等しい。

一方、朝子さんがもらった割引券とは「入園するおとなの料金は2割引、子どもの料金は1割引で、入園するグループ全員に適用される」ものであり、この割引券を使う場合、おとな4人、子ども2人で入園するとき、割引券を使わずに入園する場合よりも840円安くなることがわかった。

この動物園のおとな1人と子ども1人の入園料をそれぞれ求めなさい。ただし、答えだけでなく、答えを求める過程がわかるように、途中の式や計算なども書きなさい。

3 右の図のように、原点 O と2点 $A(4, 0)$, $B(0, 3)$ があり、座標の1目もりを1cmとする。



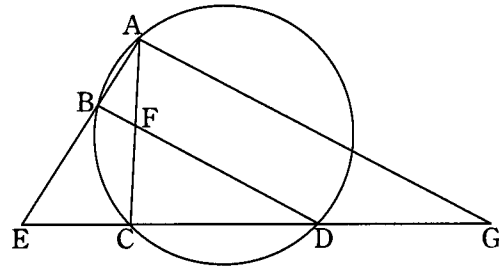
$\triangle OAB$ の辺上を動く点 P, Q があり、点 P は点 O を出発して点 A に向かい、三角形の各辺を毎秒2cmの速さで1周して点 O に戻ったら止まる。また、点 Q は点 P と同時に点 O を出発して点 B に向かい、三角形の各辺を毎秒1cmの速さで1周して点 O に戻ったら止まる。

このとき、次の①では答えだけでなく、答えを求める過程がわかるように、途中の式や計算なども書きなさい。②では□に適切な数を書き入れなさい。

① 2点 P, Q が原点 O を同時に出発した後初めて出会うのは、出発してから何秒後かを求めなさい。

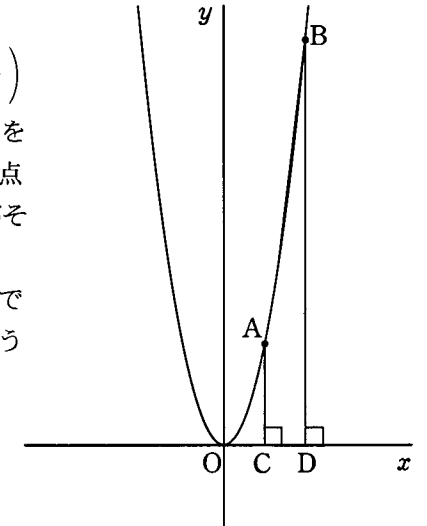
② 2点 P, Q が原点 O を同時に出発して t 秒後について考える。 $3 < t < 4$ において、 $\angle OPQ = 90^\circ$ になるとき、 t の値は□である。

4 右の図のように、円周上に4点A, B, C, Dがあり、直線ABと直線CDの交点をE、直線ACと直線BDの交点をFとする。また、点Aを通り直線BDに平行な直線と直線CDとの交点をGとすると、 $AB=2$, $BE=4$, $DG=4$ である。このとき、次の①では指示に従って答えなさい。また、②、③では に適当な数を書き入れなさい。



- ① $\triangle AEC \sim \triangle DEB$ であることを証明しなさい。
- ② $CE = \text{ (ア)}$ であり、 $\triangle ACG$ と $\triangle FCD$ の面積の比を最も簡単な整数の比で表すと、 $\text{ (イ)} : \text{ (ウ)}$ である。
- ③ $\triangle ACG$ を、直線AGを軸として1回転してできる立体の体積を V 、 $\triangle FCD$ を、直線AGを軸として1回転してできる立体の体積を W とするとき、 $\frac{W}{V} = \text{}$ である。

5 右の図のように、原点Oと関数 $y=ax^2$ (a は定数)のグラフがあり、そのグラフは点 $(-\frac{3}{2}, \frac{9}{2})$ を通る。また、図のようにグラフ上に2点A, Bをとり、A, Bから x 軸に垂線をひき、 x 軸との交点をそれぞれC, Dとする。2点C, Dの x 座標がそれぞれ3, 6であるとき、次の①, ②, ④では に適当な数を書き入れなさい。また、③では答えだけでなく、答えを求める過程がわかるように、途中の式や計算なども書きなさい。



- ① $a = \text{}$ である。
- ② 台形ACDBの面積は である。
- ③ 原点Oを通り、台形ACDBの面積を3等分する2本の直線のうち、傾きが小さい方の直線の式を求めなさい。
- ④ 2本の直線 $y=b$, $y=c$ (b, c は、 $b < c$ を満たす定数)が、台形ACDBの面積を3等分するとき、 $c = \text{}$ である。

受 番	検 号	(算用数字)	志願校	
--------	--------	--------	-----	--

解 答 用 紙

数(1)

(2)

計

1		①	
		② (7)	
		② (1)	
		③	
		④	(°)
		⑤	(cm ³)
		⑥ (7)	
		⑥ (1)	

2	
---	--

3	①	
	②	

受 番	検 号	志願校	
(算用数字)			

解 答 用 紙

(2)

4		①	
			② (7)
			② (1)
			② (7)
		③	

5		①	
		②	
		③	
			④

受番	検号	志願校	
(算用数字)			

解答用紙

数(1)

(2)

計

1



①	$\frac{2}{5}$
②(7)	$1 - \sqrt{3}$
②(1)	$\sqrt{3} + 3$
③	2
④	54 (°)
⑤	$\frac{1}{2}$ (cm ³)
⑥(7)	4
⑥(1)	$\frac{2}{3}$

3



①	<p>AB = x cm とおくと、三平方の定理より、 $3^2 + 4^2 = x^2$ $x^2 = 25$ $x > 0$ より $x = 5$ よって、△OABの周りの長さは12 cm だから、 出発してから t 秒後に出会うとすると、 $2t + t = 12$ より、$t = 4$ したがって 4 秒後…<input type="checkbox"/></p>
②	$\frac{18}{5}$

2



おとな 1 人の入園料を x 円、子ども 1 人の入園料を y 円とおく。料金について連立方程式をつくると

$$\begin{cases} 4x + 2y = 2x + 5y & \dots(1) \\ 4 \times 0.2x + 2 \times 0.1y = 840 & \dots(2) \end{cases}$$

(1), (2) を解いて $x = 900$, $y = 600$
 したがって、1 人あたりの入園料は
 おとな 900 円、子ども 600 円…

受 番	検 号	志願校	
(算用数字)			

解 答 用 紙

(2)

4

① $\triangle AEC$ と $\triangle DEB$ において、
 共通な角だから
 $\angle AEC = \angle DEB \dots\dots(1)$
 \widehat{BC} に対する円周角は等しいから、
 $\angle BAC = \angle BDC$
 よって、 $\angle EAC = \angle EDB \dots\dots(2)$
 (1), (2) より、2組の角がそれぞれ等しいので、
 $\triangle AEC \sim \triangle DEB$

② (7)	3
② (1)	81
② (7)	25
③	$\frac{425}{729}$

5

①	2
②	135

③ 求める直線の式を $y = mx$ とおく。この直線が点 A を通るとき、 $18 = 3m$ より $m = 6$ であり、直線 OA と直線 BD の交点を E とおくと、E(6, 36) である。
 このとき、台形 ACDE の面積は $\frac{3(18+36)}{2} = 81$ であり、台形 ACDB の面積の $\frac{1}{3}$ は $135 \times \frac{1}{3} = 45$ だから、求める直線は線分 AC と交わる。
 直線 $y = mx$ と直線 AC, BD との交点をそれぞれ F, G とすると、F(3, 3m), G(6, 6m) である。台形 FCDG の面積が 45 より
 $\frac{3(3m+6m)}{2} = 45$
 よって、 $m = \frac{10}{3}$
 したがって、求める直線の式は $y = \frac{10}{3}x$ … 答

④	$72 - 18\sqrt{5}$
---	-------------------